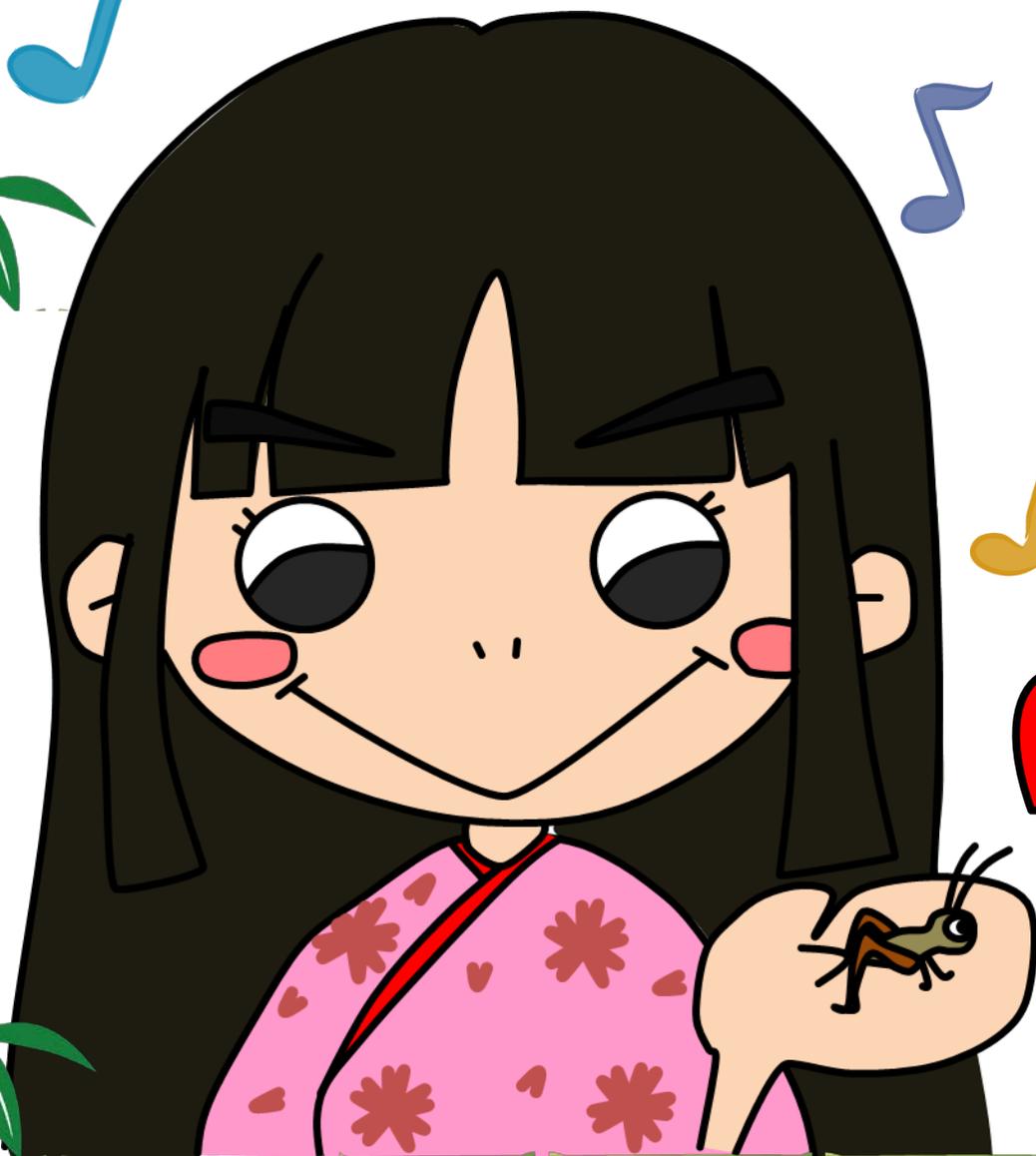




# 虫の声を楽しむ本

## たまきさんサロンの巻



# たまきさんサロンのまわりの地図



たちどまって  
きいてみよう  
ポイント

- ・ 森の近くと芝生では  
きこえる虫の音が  
ちがうので聞き比べ  
てみよう！
- ・ 暗くなると街灯が  
ついて、おしゃれ↓



※青葉山は自然が豊かな場所です。茂みに近づくときは、クマもいるので気を付けてね！



# ここで暮らしている虫たち

(平成30年8月24日にみつけた虫)

コオロギのなかま

シバズズ

カンタン

エンマコオロギ

ハラオカメコオロギ

キリギリスのなかま

ハヤシノウマオイ

クサキリ

バッタのなかま

ショウリョウバッタ

クルマバッタモドキ

コバネイナゴ

オンブバッタ

ハラヒシバッタ

次のページでは、個性豊かな鳴き声をもつ、  
コオロギやキリギリスのなかまをご紹介します！

11種類

# コオロギのなかま

## シバズズ



6mmくらい

- ・ 芝生にいっぱいいる
- ・ 芝生を歩くと、ぴよんぴよんはねる。
- ・ 「ジ————」  
体が小さいので声もちょっと小さい

## カンタン



1.5cmくらい

- ・ うすい黄緑色の体がきれい
- ・ ひよろっとしていて、たよらない感じ
- ・ 細長い
- ・ 「リュリュリュリュリュ…」  
鳴いているのはオスだけれど、  
鳴き声がきれいなことから  
「鳴く虫の女王」とよばれる

## エンマコオロギ



3cmくらい

- ・ いちばんメジャーなコオロギ
- ・ コオロギの中では一番大きい
- ・ 歌うように、高い声で鳴く
- ・ 「コロリーコロコロ…」  
と鳴き声が表されることが多いけれど、コロコロより  
キリキリの方が近い  
(気がする)

# コオロギのなかま

ハラオカメコオロギ ・ エンマコオロギの半分くらいのサイズ



1.5cmくらい

- ・ 横から顔を見ると、お面のよう  
に、顔が平たく、切ったように  
ストンとしている
- ・ 「ギツギツギツギツ…  
ギツギツギツギツギツ」  
4～5音で区切ってなく

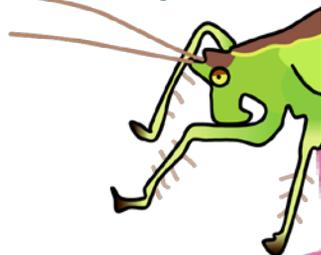
# キリギリスのなかま

## ハヤシノウマオイ



4.5cm < 5cm

- ・ 別名「すいっちょん」
- ・ 目が人っぽい
- ・ 「スイー—ツチョン」  
最後の「チョン」は、  
舌打ちのようにきこえる



## クサキリ



4cm < 5cm

- ・ みどりいろ  
(ちゃいろもいるよ)
- ・ あしの先の方(大きく曲がっているところから先)は黒っぽい
- ・ 「ジ—————」  
ちょっと、耳ざわりに感じる人もいるかも

# おまけページ

## 将軍家に献上された宮城野のスズムシ

今からさかのぼること200年以上前、江戸時代。仙台の宮城野のスズムシの美声は全国に知られ、伊達藩から江戸(東京)の将軍家に毎年届けられていました。

なんと旧暦の8月1日(今の9月上旬頃)までは将軍様のために、スズムシ狩り禁止のお触れが出ていたくらいです。



## 仙台市の虫、スズムシ

こうした歴史もあり、スズムシは昔から仙台の人々に親しまれ、昭和46年には市民投票により「仙台市の虫」になりました。

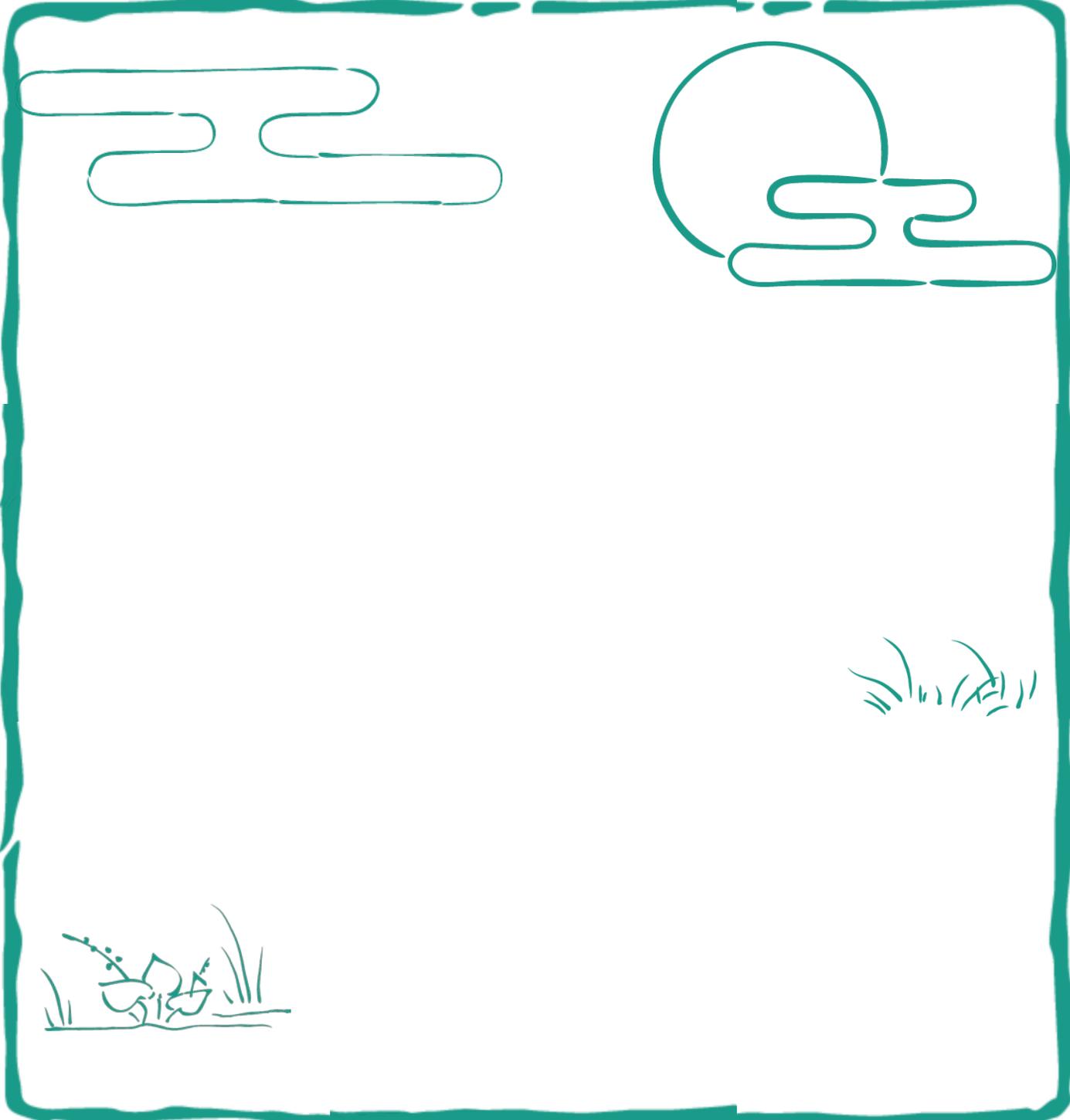
残念ながら、現在仙台で野生のスズムシはほとんど確認されていませんが、「すずむしの里づくり実行委員会」のみなさんの飼育・普及活動等により、季節になると、スズムシが美しい音色を奏で、多くの市民に愛されています。

## 岩切市民センターの「すずむし室」

宮城野区にある岩切市民センターには、スズムシ専用の部屋があります!その名も「すずむし室」。

このすずむし室では、毎年、数千、数万のスズムシ達が、「すずむしの里づくり実行委員会」のみなさんの愛情いっぱいのお世話のもと元気に育っています。毎年、夏になると配布会もしているの、家で育ててみたいという方は岩切市民センター(Tel 022-255-7728)まで!





この本は、生物多様性保全推進事業「虫の声を楽しむ会～たまきさんサロンの巻～」(平成30年8月24日)でみつけた虫をもとに作りました。

◆作成・写真協力：杏澤道宏(株)エコリス◆



\*\*\*\*\*

ホームページで、虫の声を楽しむ会の様子や、様々な生きものの奏でる音を配信しています!のぞいてみてね。

生物多様性保全推進事業ホームページ  
(仙台市環境Webサイト たまきさん内)

<https://www.tamaki3.jp/wildlife/index.html>



スマホや携帯で  
バーコードを読み取ってみよう!